

「九州沖縄地区における陰茎癌の実態調査」へご協力をお願い

1. 研究の対象

2019年9月25日～2021年3月31日に当院泌尿器科で陰茎癌の治療を受けた方

2. 研究の体制

本研究は熊本大学大学院生命科学分野を主たる研究機関とした多施設共同研究であり当院は、研究協力機関となっております。

主研究機関・実施責任者:熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器科学分野 教授 神波 大己

3. 研究目的・方法

陰茎癌は先進諸国では稀な悪性の皮膚にできる腫瘍です。日本では人口10万人に対する年間の陰茎癌患者数は0.5人ほどしかみられません。そのため日本での陰茎癌に対する診療ガイドラインなどの治療の手引きも定まっていない状態です。泌尿器科医は欧米での陰茎癌に対するガイドラインなどを参考に治療方法を決定していますが、海外のガイドラインを利用するにあたっては、背景となる医療保険などの医療制度や、使用できる検査薬や治療薬などの医療事情の違いなどもあり、内容によっては日本で行えないこともあり、注意が必要です。

この研究は、九州沖縄地区での稀な陰茎癌の実態調査を行い、発生頻度や患者様の背景、病態、ご病気の進行度、行われた検査や手術、補助治療、治療の効果などを観察することで、陰茎癌の診断や治療に関連する新しい知識を得ることを目的として実施されます。

単独の施設では集められる患者様の数が少ないため、九州沖縄地区の大学病院とその関連施設が協力して研究を行います。この研究を通して、比較的規模の大きな地域における陰茎癌の診断や治療の実態が明らかとなります。

4. 使用する情報

本研究では、患者様の診療録から、以下の診療情報を調査します。入院中や外来通院中における観察所見であり、研究のために予定される検査や診察はございません。また、本研究の成果は学会や論文等を通じて発表する予定です。

① 患者様の背景

年齢、主訴、初診日、疾患の認識から受診までにかかった期間、病歴に関する情報、生活(喫煙歴、飲酒歴)、既往歴、併存症

② 病気の場所や広がり、組織診断結果

③ 診療における血液学的検査の結果:検尿、尿培養、尿細胞診、血液生化学検査

④ 治療方法(手術療法、化学療法、放射線療法などの内容、治療日、治療期間など)

⑤ 患者様のその後の経過について(生存情報なども含みます)

5. 研究の実施期間

2019年9月25日～2022年3月31日

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

所属 担当医師: 済生会熊本病院 泌尿器科 占部 裕巳

電話番号 : 096-351-8000 (病院代表)

以上